

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

マザーズ新田塚

公表日 2025年 3月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・保護者への発信が工夫されている。 ・衝突などのけががないように内容に最適な配置になるように改善している。 ・死角のないよう机配置、広く過ごすスペースをできる限り確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		出来るなら、安全な送迎のため、職員数を増やしていただきたいです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		・特にバリアフリーにはなっていない。 ・児童玄関と駐車場の境に段差あり。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	静養室が利用しやすい。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・話し合う機会をもうけている。 ・日々の勉強会や終礼を活用し共有している。	パート社員がPDCAサイクルに参画できていないことが多い。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼、終礼、その他適宜コミュニケーションを取っている。	パート社員の意見を聞く機会が限られている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		検討事項とする。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	年間計画を作成し、毎月実施の確認をしている。	パート社員が研修に参加する機会が限られている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		支援プログラムは作成済み。近日中に公開する予定。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	別室での聞き取りや余暇時間での聞き取りなど児童に合わせたアセスメントをしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	事前に資料を配り、準備を整えた上で会議を開催している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	日々の支援記録を毎日確認、共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の勉強会では児童の特性行動を共有、冰山モデルにおきかえ確認している。	職員は常に見れる状態ではあるが頻度をあげて子供の特性を常に確認する必要があると思う。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・職業体験など積極的に取り入れている。 ・支援計画への反映と会議での共有をしている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	体系化されたプログラムの担当者、委員会のなかで随時改善を重ね作り上げている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ新田塚	公表日	2025年	3月	1日
------	---------	-----	-------	----	----

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎月の振り返りから改善点の共有、プログラムの更新をしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	体系化されたプログラムの活動や学習支援のほか、余暇時間での児童それぞれに関わり支援をしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼での共有をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	終礼での共有をしている。	退勤時間が早いパート社員とは共有できていない。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	社内アプリbridgeでの記録をしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	毎月の更新者数を標準化し、無理なく実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	地域交流を長期休暇やイベント時に企画している。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・子供が積極的に発言しやすい環境を作っている。 ・余暇時間の提供、スケジュールにとらわれず児童の意思選択を促す関わりを基本としている。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	移行支援の提案や相談支援専門員との情報共有をしている。	児童館の交流連携はあるが、医療機関とは特にない。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	毎月のお便り確認と保護者からの情報提供を連携している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	年度末に移行支援会議を開催している。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	これまでにケースがない。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	外部の研修情報を共有している。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	夏、冬に交流会を実施した。（スポーツ交流、クリスマス交流）	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎や面談、保護者会、保護者参加イベントにて連携している。	
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	ペアトレ年間2回開催のほか、保護者参加イベントを開催している。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ新田塚	公表日	2025年	3月	1日
------	---------	-----	-------	----	----

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・保護者会の機会に日頃の療育等体験などをしてもらっている。 ・契約時に説明している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者会面談や日々の送迎時に情報共有している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が説明し、同意をいただいている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	迅速な対応をするため職員間での情報共有を日々行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会や保護者・ご家族参加イベントを開催している。	
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・すぐに職員間で共有し対応している。 ・即日対応を職員間で共通理解している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	マザーズ新聞、ブログ発信、専用連絡ツールでの写真添付をしている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	近隣施設や住民と関わり活動機会を設けている。	招待はしているが来ていただく事はほぼない。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	専用の連絡ツールにてマニュアルの共有、訓練実施を周知している。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年間計画に沿って実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時や面談時に確認している。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	個別に持参してもらった対応を行う場合もある。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	年間計画に沿って訓練を実施している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	専用の連絡ツールに安全計画掲載をしている。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハット集を作成している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	年間計画にそって実施している。	パート社員の研修機会が確保できていない。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	現在該当児童はいないが、今後そういった場合には対応する。	